

## 2009年度中部支部 通常総会

1. 日 時 : 2009年 6月10日(水) 9:50~20:00
2. 場 所 : 名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号) TEL(052)683-7711  
地下鉄「日比野」または「西高蔵」下車徒歩約5分  
駐車場は、約 600 台駐車可能(1日1回 700円)

3. 開催行事 :

行 事		時 間	会 場
研究発表会	受 付	9:10~	2号館 2階 会議室前ロビー
	第1会場	9:50~11:40	2号館 3階 234会議室
	第2会場		2号館 3階 232~233会議室
	第3会場		2号館 2階 224会議室
支 部 理 事 会		10:40~11:40	2号館 2階 222~223会議室
昼 食		11:40~12:50	2号館 2階 221会議室
通 常 総 会		13:00~14:00	1号館 4階 レセプションホール
先 輩 講 話		14:10~15:00	1号館 4階 レセプションホール 【 一 般 公 開 】
特 別 講 演 会		15:10~16:30	
ア ト ラ ク シ ョ ン		16:50~17:50	
会 員 パ ー テ ィ ー		18:20~20:00	1号館 7階展望レストラン

4. 参加費 : 通常総会(会員ののみ) 無料  
特別講演会・先輩講話・アトラクション(一般公開) 無料  
研究発表会 正会員 1,500円、学生会員 500円、  
会員外(一般) 3,000円、会員外(学生) 1,500円  
会員パーティー 7,000円

5. 通常総会 : (13:00~14:00)1号館4階 レセプションホール

- \*開会の辞
- \*支部長挨拶
- \*来賓挨拶
- \*議長選出
- \*議 事
  - ① 2008年度 事業報告に関する件
  - ② 2008年度 会計決算報告に関する件
  - ③ 2008年度 事業および会計監査報告に関する件
  - ④ 2009年度 中部支部役員に関する件
  - ⑤ 2008年度 中部支部事業計画に関する件
  - ⑥ 2008年度 中部支部会計予算に関する件
- \*支部事業活動功労者に感謝状と記念品贈呈
- \*本部フェローの贈呈
- \*閉会の辞

## 6. 研究発表会

ご来場の際は、必ず2号館2階ロビー受付にお越し下さい。

(#:安全・環境 \*:パワートレイン ※:シャシー・ボデー・エレクトロニクス他 項目)

セッション	会場	時間	テ ー マ	発表者
第1会場(安全・環境)	2号館3階234会議室	9:50 ~10:10	鉛フリーオーバーレイ付き高強度アルミニウム合金軸受の開発 *	大同メタル工業(株) 第1カンパニー開発室 荻澤 知之
		10:10 ~10:30	エンジン用すべり軸受に施す固体潤滑オーバーレイコーティング *	大豊工業(株) 第1軸受開発部 壁谷 泰典
		10:30 ~10:50	サステナブルモビリティのための環境技術とエンジンラインナップ *	トヨタ自動車(株) エンジンプロジェクト推進部 橋爪 秀史
		11:00 ~11:20	急速燃焼法によるノック改善ポテンシャル *	(株)豊田中央研究所 機械基盤研究部 飯田 晋也
		11:20 ~11:40	吐出量可変オイルポンプの開発 #*	アイシン精機(株) 機関系技術部 豊田 文彦
第2会場(パワートレイン)	2号館3階232・233会議室	9:50 ~10:10	エンジン運動部品計測用テレメータ *	(株)日本自動車部品総合研究所 研究1部 小井 良治
		10:10 ~10:30	スプレーガイド直噴ガソリンエンジンの燃料噴射が点火放電挙動に及ぼす影響 *	三菱自動車工業(株) パワートレイン研究部 佐藤 公彦
		10:30 ~10:50	シミュレーションを用いたMT操作性予測技術の向上(仮) *	愛知機械工業(株) 製品開発部 中村 勉
		11:00 ~11:20	新構造小容量CVTの開発 *	アイシン・エイ・ダブリュ(株) 第2技術部 佃 和道
		11:20 ~11:40	自動車が発生する狭帯域風騒音の渦構造 ※	スズキ(株) 四輪プラットフォーム設計部 鈴木 猛介
第3会場(シャシー・ボデー)	2号館2階224会議室	9:50 ~10:10	プレス品のスプリングバック解析の精度向上 ※	トヨタ車体(株) 第1生産技術部 山田 健治
		10:10 ~10:30	FCV製シリンダブロックの開発 ※	(株)豊田自動織機 エンジン事業部 高橋 信博
		10:30 ~10:50	ハイブリッド電気自動車用電池SOCに関するシュミレーション評価 ※	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所品質管理室 坂本 俊之
		11:00 ~11:20	ワイパー払拭性能評価手法に関する検討 #	アスモ(株) 開発部 山西 正彦
		11:20 ~11:40	超高齢社会における安全運転支援のための高齢ドライバ対策 #	名城大学 理工学部 中野 倫明

## 7. 先輩講話 <<一般公開>>

講師:さんぼう会 加治屋貞夫氏

演題:「地球環境・人・自動車」

## 8. 特別講演会 <<一般公開>>

講師:山本 俊政氏

(岡山理科大 工学部 バイオ応用化学科准教授)

演題:「漁業革命への果てしなき挑戦!

好適環境水を利用した閉鎖循環式陸上養殖システムの開発」



●漁獲の氾濫や魚の値段高騰が、世界的に問題になり始めています。「海の魚は海水でしか育たない」と言う常識を打ち破り、新たな発想で海水魚と淡水魚と一緒に飼育できる画期的な水「好適環境水」を開発。この水による山間部での海水魚の養殖への取り組みや今後の可能性・課題について、ご講演頂きます。

## 9. アトラクション <<一般公開>>

「尺八新世界」～現代の虚無僧世界を吹く～

演奏者:尺八 縄巻修巳、電子オルガン 縄巻トモコ

- 尺八と言えば江戸時代の虚無僧あるいは紋付袴姿の民謡。縄巻氏はこのイメージを払拭する。行脚の地を世界に求め、大小さまざまな尺八を駆使して、ポピュラー、歌謡曲、映画音楽などあらゆる音楽を吹く。古典から現代曲まで、竹の音が縦横無尽に躍動する姿をご堪能下さい。

## 10. 会員パーティー

会員の方々の親睦を深めていただく良い機会ですので多数の方のご参加をお待ちしています。

### 2009－第1回見学会

開催日時	2009年4月23日(木)13:30～16:15
会場	(株)デンソー 幸田工場
スケジュール	13:30 会社概要説明 13:45 工場見学 14:45 技術講演 16:00 質疑応答
概要	エンジンECU(Electronic Control Unit)製造工程の見学 技術講演テーマ「カーエレクトロニクスを支える半導体技術」
集合場所	JR幸田駅
集合時間	13:15
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」にしたがって必要事項ご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2009年4月2日(木)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

### 2009－第2回見学会

開催日時	2009年5月26日(火)12:30～15:15
会場	トヨタ自動車(株) 高岡工場
スケジュール	12:30 工場見学 14:05 技術講演「iQの車両開発(仮)」 15:00 質疑応答
概要	「iQ」の組み立てライン(一般見学ロングコース)の見学
集合場所	愛知環状鉄道 新豊田駅 東口(改札付近よりバスまでスタッフがご案内致します) * 駐車場はありませんので、支部手配のバスをご利用下さい
集合時間	12:00
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」にしたがって必要事項ご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2009年4月28日(火)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

### 2009－第3回見学会

開催日時	2009年6月18日(木)12:00～16:00
------	--------------------------

<b>会場</b>	陸上自衛隊 駒門駐屯地
<b>スケジュール</b>	12:00 挨拶、概要説明 12:20 隊員食体験 13:00 戦車試乗 14:30 整備施設・装備見学 15:30 質疑応答 (内容は予定です。変更となる可能性もありますので、ご了承下さい)
<b>概要</b>	・戦車試乗、整備施設・装備品見学 (変更となる可能性もあります。予めご了承下さい) ・多少のホコリ、汚れが予想されますので、服装にご注意下さい。 ・雨天時にはカッパ等ご用意下さい。
<b>集合場所</b>	JR三島駅(改札付近よりバスまでスタッフがご案内致します) * 駐車場はありませんので、支部手配のバスをご利用下さい
<b>集合時間</b>	11:20
<b>定員</b>	50名
<b>申込方法</b>	添付の申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい
<b>申込締切日</b>	2009年5月20日(水)
<b>参加費</b>	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料 当日現金で徴収いたします。 つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
<b>参加者条件など</b>	自動車技術会会員に限る

## 2009－第4回見学会

<b>開催日時</b>	2009年7月15日(水)13:00～16:00
<b>会場</b>	(株)ブリヂストン 彦根工場
<b>スケジュール</b>	10:00 名鉄知立駅集合、出発 12:30 昼食(ブリヂストン 彦根工場内) 13:00 ご挨拶、概要説明 13:35 工場見学 14:50 質疑応答 15:10 技術講演「演題未定」 16:00 彦根工場出発 18:30 名鉄知立駅解散
<b>概要</b>	・名鉄知立駅よりバスを配車致します。 ・ご希望の方には昼食(実費750円)を用意いたしますので、申込書にその旨記載下さい。
<b>集合場所</b>	名鉄知立駅前 三菱東京UFJ銀行付近 (知立駅改札付近よりバスまでスタッフがご案内致します)
<b>集合時間</b>	09:50
<b>定員</b>	50名
<b>申込方法</b>	下記申込方法に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
<b>申込締切日</b>	2009年6月24日(水)
<b>参加費</b>	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
<b>参加者条件など</b>	同業他社の方はご遠慮下さい。

## 2009－第5回見学会

開催日時	2009年9月15日(火)13:50～17:00
会場	新日本製鐵(株) 名古屋製鐵所
スケジュール	13:50 新日鐵ゲストホール集合 14:00 会社概要説明 14:15 技術講演「自動車用高強度鋼板の開発の動向」 15:00 工場見学 16:30 質疑応答 17:00 解散
概要	・駐車場はございませんので、公共交通機関にてお越し下さい。 (名鉄常滑河和線「新日鉄前」駅改札付近よりスタッフがご案内致します)
集合場所	新日本製鐵(株)名古屋製鐵所ゲストホール
集合時間	13:40
定員	50名
申込方法	下記申込方法に従い、申込書に必要事項をご記入の上お申込み下さい。
申込締切日	2009年8月25日(火)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

## 2009－第6回見学会(北陸地区対象研修会)

開催日時	2009年9月17日(木)10:00～16:40
会場	愛知機械工業(株)永徳工場、愛知県産業貿易館
スケジュール	10:00～11:40 工場見学(愛知機械工業(株)永徳工場) 12:20～13:00 昼食(愛知県産業貿易館内レストラン) 13:00～16:40 自動車技術講習会(愛知県産業貿易館) 16:50～ 帰路
集合場所	5:00 金沢駅、5:30 トランテックス、6:10 ジェイバス、7:00 北鯖江PA
定員	30名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2009年7月31日(金)
参加費	正会員(一般) 3,000円、会員外(一般) 7,000円、学生会員 1,000円、会員外(学生) 1,000円

## 2009－第7回見学会

開催日時	2009年10月13日(火)13:30～16:00
会場	ダイハツ工業(株) 滋賀(竜王)工場
スケジュール	10:00 名鉄知立駅出発 13:35 会社概要説明 13:55 工場見学 14:40 技術講演「訴求力の高いスモールカーインテリアを目指して」 及び質疑応答 16:00 滋賀工場出発 18:30 名鉄知立駅解散(交通状況により多少前後する可能性があります)

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名鉄知立駅よりバスを配車致します。</li> <li>・昼食は車中となります。ご希望の方にはお弁当(実費 1,000 円)を用意致しますので、お申込書備考欄にその旨ご記入下さい。</li> </ul>
集合場所	名鉄知立駅 三菱東京UFJ銀行付近 (知立駅改札付近よりバスまでスタッフがご案内致します)
集合時間	09:50
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」に従い、申込書に必要事項をご記入の上お申込み下さい。
申込締切日	2009年9月22日(火)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

## 2009－第8回見学会

開催日時	2009年11月27日(金)13:25～16:00
会場	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所
スケジュール	12:45 近鉄「白子」駅集合 13:25 概要説明 13:50 工場見学(インサイト組立ライン) 14:45 技術講演 「ハイブリッド電気自動車用電池SOCに関するシミュレーション評価」 15:30 質疑応答 16:40 近鉄「白子」駅解散
概要	・駐車場はございませんので、支部手配バスをご利用下さい。
集合場所	近鉄「白子」駅(改札付近より集合場所まで事務局スタッフがご案内致します)
集合時間	12:45
定員	50名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2009年11月6日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

## 2009－第9回見学会

開催日時	2009年12月18日(金)13:20～16:45
会場	日本車輛製造(株) 豊川製作所
スケジュール	13:00 日本車輛製造(株)豊川製作所 1階ロビー集合 13:20 概要説明 13:40 技術講演「鉄道車両の技術動向について」 14:30 質疑応答 15:00 工場見学 16:20 質疑応答 16:45 解散
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影禁止</li> <li>・携帯電話使用禁止</li> <li>・ハイヒール使用禁止</li> </ul>

	・駐車場はございませんので、公共交通機関でお越し下さい。 (名鉄豊川線「諏訪町」駅から徒歩約12分)
集合場所	日本車輛製造(株) 豊川製作所 1階ロビー (「諏訪町」駅から事務局スタッフがご案内致します)
集合時間	13:00
定員	20名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入のうえ、お申込み下さい。
申込締切日	2009年11月12日(木)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)
参加者条件など	自動車技術会 会員に限る

## 2009-第10回見学会

開催日時	2010年1月25日(月)13:30~16:20
会場	アイシン精機(株) 半田工場、半田電子工場、エコトピア
スケジュール	13:05 JR武豊線「亀崎」駅集合 13:30 概要説明 13:50 工場見学 15:40 技術講演「エンジン冷却用電動ウォーターポンプの開発」 16:10 質疑応答 16:40 JR武豊線「亀崎」駅解散
概要	・駐車場はございませんので、支部手配のバスをご利用下さい。
集合場所	JR武豊線「亀崎」駅 (改札付近より集合場所まで事務局スタッフがご案内致します)
集合時間	13:05
定員	50名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項ご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2009年12月25日(金)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

## 2009-第11回見学会

開催日時	2010年2月19日(金)13:15~15:50
会場	スズキ(株) 湖西工場
スケジュール	12:40 JR「鷺津」駅集合・出発 13:15 挨拶・スケジュール説明 13:20 工場案内ビデオ 13:40 概要説明 14:00 工場見学 14:50 質疑応答 15:10 技術講演「KIZASHI足廻り部品のアルミ化による軽量化」 15:40 質疑応答 16:30 JR「鷺津」駅解散

概要	・駐車場はありませんので、支部手配のバスをご利用下さい
集合場所	JR「鷺津」駅 (改札付近より事務局スタッフのご案内いたします)
集合時間	12:40
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」をご参照頂き、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年1月19日(火)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

## 2009－第12回見学会

開催日時	2010年3月16日(火)13:10～16:30
会場	三菱電機(株) 名古屋製作所
スケジュール	13:00 FAコミュニケーションセンター集合 13:10 概要説明 13:20 「FAコミュニケーションセンター」展示場見学 14:10 技術講演「e-F@ctoryでの省エネ事例」 15:00 工場見学 16:00 質疑応答 16:30 解散
概要	・駐車場はありません
集合場所	三菱電機(株) 名古屋製作所 FAコミュニケーションセンター
集合時間	13:00
定員	50名
申込方法	下記「申込方法」をご参照頂き、必要事項をご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2010年2月23日(火)
参加費	正会員(一般):1,000円、正会員(学生):無料、会員外(一般):3,000円、会員外(学生):無料 当日現金で徴収いたします。つり銭のなきようご用意願います。(領収書を発行いたします)

## 2009－第1回自動車技術講習会

開催日時	2009年9月17日(木)13:00～16:40
会場	愛知県産業貿易館 西館 10階大会議室
テーマ	カーエレクトロニクス of 最新技術動向と将来展望
スケジュール	13:10～14:00 ①「持続可能な自動車産業を目指して ～環境・安全技術と車載電子部品開発の動向～」 小川 尚 氏 〔トヨタ自動車(株) 第2電子開発部 部長〕 14:00～14:50 ②「電気自動車用高性能リチウムイオン電池の 技術内容と開発動向」 西山 浩一 氏 〔(株)ジーエス・ユアサコーポレーション 研究開発センター 第2開発部 担当部長〕 15:00～15:50 ③「自動車の安全に寄与する画像処理技術」

	<p>手操 能彦 氏 〔株デンソー 情報安全システム開発部 主幹〕</p> <p>15:50～16:40 ④「クルマの進化を支える将来の車載ネットワーク技術」 見並 一明 氏 〔株トヨタIT開発センター 研究開発部 副部長〕</p>
概要	<p>①「持続可能な自動車産業を目指して」 持続可能な自動車産業のためには、環境、安全性は必須の基本性能である。カーエレクトロニクスは利便性向上だけではなく、これら基本性能にも不可欠な技術となっている。本報告では、これらを実現するための電子部品の開発動向を紹介するとともに、複雑化、大規模化する車載電子部品の全体構成に関して合理的、効率的に実現するための考え方について述べる。</p> <p>②「電気自動車用高性能リチウムイオン電池の技術内容と開発動向」 電気自動車の加速性、航続距離は搭載される電池の性能によるところが大きい。そのため、その実現のためには、従来に無く高性能で、しかも高信頼の電池が必要であった。今回の発表では、このたび量産が開始された電気自動車用リチウムイオン電池について、その構造、特性等について報告するとともに、現在検討中の性能改善の取り組みについても紹介する。</p> <p>③「自動車の安全に寄与する画像処理技術」 2003年に大型トラック用として、車線逸脱警報用に道路のレーンマークを検出する画像センサを商品化した。それ以来、予防安全に画像処理技術が続々と応用されており、車両の安全性向上に寄与している。今回は、現在車載用として実現されている画像処理技術について解説し、開発中の事例を紹介、今後の展望について述べる。</p> <p>④「クルマの進化を支える将来の車載ネットワーク技術」 クルマの電子化が進む中、ネットワーク技術の重要性はますます高まっている。社内LANの高速化により、車両制御システムは個別制御から統合システムへ移行し、その対象はインフラをも含めて広がりつつある。本講では、クルマの電子化の動向と今後のクルマの進化を左右するネットワーク・通信技術の最新動向を紹介する。</p>
集合時間	13:00
定員	180名
申込方法	下記「申込方法」に従い、必要事項ご記入のうえ、お申込み下さい
申込締切日	2009年8月27日(木)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

## 2009－第2回自動車技術講習会

開催日時	2010年1月21日(木)13:00～16:40
会場	刈谷市産業振興センター(刈谷市相生町1-1-16)
テーマ	自動車の軽量化を支える最新技術
スケジュール	<p>13:10～14:00 ①「マツダにおける軽量化のアプローチ」 鍵本 浩一 氏 〔マツダ(株) 装備開発部 先行技術開発グループマネージャー〕</p> <p>14:00～14:50 ②「自動車の軽量化を支える 特殊鋼線材・棒鋼の現状と今後の課題」 鹿磯 正人 氏 〔株神戸製鋼所 神戸製鉄所 条鋼開発部 部長〕</p>

	<p>15:00～15:50 ③「NEDOプロジェクト 自動車軽量化炭素繊維複合材料の研究開発の紹介」 山口 晃司 氏 〔東レ(株) オートモーティブセンター 課長代理〕</p> <p>15:50～16:40 ④「自動車の軽量化、衝突安全性を支える新材料技術 －水に浮く金属、ポーラス金属の自動車への応用－」 三原 豊 氏 〔香川大学 知能機械システム工学 教授 微細構造デバイス統合研究 センター長〕</p>
<p>概要</p>	<p>①「マツダにおける軽量化のアプローチ」 マツダは、サステナブル Zoom-Zoom 実現のためのキーイネブラーのひとつとして、軽量化を標榜している。 現マツダデミオの開発を通じ、安全性、乗り心地等、多くの制約のある自動車開発のなかで、コンセプト固め、材料選定、工法決定、解析技術等の軽量化のアプローチを紹介する。</p> <p>②「自動車の軽量化を支える特殊鋼線材・棒鋼の現状と今後の課題」 鉄鋼材料は、自動車の素材として優れた特性、経済性、リサイクル性を理由に幅広く使用されている。中でも特殊鋼はエンジンや足回り部品などに使用されており、自動車の軽量化を目的に、疲労強度や遅れ破壊に優れることが要望される。本講では、当社が開発した特殊鋼線材・棒鋼の高強度材の紹介を通じて、自動車の軽量化への鉄鋼材料の貢献の一部と今後の取り組みを紹介する。</p> <p>③「NEDOプロジェクト 自動車軽量化炭素繊維複合材料の研究開発の紹介」 平成 15 年～平成 19 年まで実施された NEDO プロジェクト「自動車軽量化炭素繊維複合材料の研究開発」において実施した炭素繊維複合材料を使用した高速成形技術・組立技術・車両衝突時のエネルギー吸収技術・リサイクル技術を紹介する。また、東レが実施している炭素繊維複合材料の自動車への適用についても紹介する。</p> <p>④「自動車の軽量化、衝突安全性を支える新材料技術 －水に浮く金属、ポーラス金属の自動車への応用－」 ポーラス金属とは、金属の中に空洞を持った空気と金属の複合材である。水に浮くほど軽量で、比剛性が高く、エネルギー吸収特性の優れた性質を示すため、剛性、強度を確保しながら軽量化を図ることができる。また、高い吸収特性を利用し、クラッシュボックスなどのエネルギー吸収部材としての検討も進められている。ここでは、ポーラス金属の種類とその特徴、自動車への利用について、研究開発の現状を紹介する。</p>
<p>集合時間</p>	<p>13:00</p>
<p>定員</p>	<p>180名</p>
<p>申込方法</p>	<p>下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。</p>
<p>申込締切日</p>	<p>2009 年 12 月 24 日(木)</p>
<p>参加費</p>	<p>正会員(一般)2,000 円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000 円、会員外(学生)無料</p>

## 2009－第1回技術講習会

<p>開催日時</p>	<p>2009 年 11 月 13 日(金) 13:00～16:20</p>
<p>会場</p>	<p>愛知県産業労働センター (名古屋市中村区名駅 4-4-38) 添付ファイル(地図)をご参照下さい</p>
<p>テーマ</p>	<p>新たな時代を切り拓く自動車技術 －環境に即した次世代パワートレシー</p>
<p>スケジュール</p>	<p>13:10～14:20 ①「プラグイン・ハイブリッド車の取組み」</p>

	<p>安部 静雄 氏 〔トヨタ自動車(株) HVシステム開発統括部 部長〕</p> <p>14:10～15:10 ②「自動車変速機の現状と今後の技術進化の方向性」 服部 昇 氏 〔ジャトコ(株) 商品開発室 主管〕</p> <p>15:20～16:20 ③「ガソリンエンジンの現状と将来動向」 －予混合圧縮着火(HCCI)エンジンの着火時期制御－ 村瀬 英一 氏 〔九州大学大学院 工学研究院 機械工学部門 教授〕</p>
概要	<p>①「プラグイン・ハイブリッド車の取組み」 地球環境の中で自動車に科せられた課題は「エネルギー対応」「CO2削減」「大気汚染防止」である。解決の選択肢のひとつとしてハイブリッド車がある。このハイブリッド車に充電機能をもたせた「プラグイン・ハイブリッド車」は前述の3つの課題解決に更に有力である。 トヨタは今年末に日米欧でリース販売するが、本格的普及には解決すべき大きな課題がある。これらの課題とトヨタが実施しているモニター車による実証試験の結果と将来の展望について述べる。</p> <p>②「自動変速機の現状と今後の技術進化の方向性」 自動変速機を取り巻く技術開発の環境としては、地球温暖化への対応や新興市場シフトへの対応が要求されている。 また新商品としてDCTやHEVの登場により百花繚乱の状況にあり、自動変速機の技術開発史における歴史的転換点にあると言えよう。したがって、どのような方向性で技術開発を進めるかは重要な経営課題である。 本講演では、自動変速機の技術の歩み、step-AT、CVT、DCTの比較、CVTを中心とした開発の方向性を論ずる。</p> <p>③「ガソリンエンジンの現状と将来動向」 自動車用パワートレインにとって、石油資源の枯渇、地球温暖化、大気温暖化、大気汚染などの多くの課題が時代とともに顕在化かつ深刻化している。これらを解決するために、ハイブリッド自動車、電気自動車などの開発や新燃料の利用など、さまざまなアプローチがなされている。またガソリンエンジンにおいても生き残りをかけて新たな技術開発が行われており、それらの現状と将来動向について説明する。その中でパルスジェット点火による予混合圧縮着火(HCCI)エンジンの着火時期制御について実験結果とともに説明する。</p>
集合時間	12:50
定員	140名
申込方法	下記「申込方法」に従って、必要事項をご記入の上、お申込みください。
申込締切日	2009年10月23日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

## 2009－第2回技術講習会

開催日時	2010年3月5日(金)13:00～16:20
会場	刈谷市産業振興センター (刈谷市相生町 1-1-6)
テーマ	「新たな時代を拓く自動車技術」－進化する安全性能を担う周辺技術－
スケジュール	<p>13:10～14:10 ①「安全運転支援システムの現状と課題」 津川 定之 氏 〔名城大学 理工学部情報工学科 教授〕</p>

	<p>14:10～15:10 ②「日産の「ぶつからないクルマ」の取り組みと、最新のカーナビ利用運転支援システムのご紹介」 福島 正夫 氏 〔日産自動車(株) 電子技術開発本部 IT&amp;ITS開発部企画グループ Engineering Director〕</p> <p>15:20～16:20 ③「衝突安全に対する車体構造とエネルギー吸収部材」 青木 義男 氏 〔日本大学 理工学部精密機械工学科 教授〕</p>
概要	<p>①「安全運転支援システムの現状と課題」 自動車の安全は、衝突安全と予防安全に大別されるが、ここでは予防安全について、国内外の動向をITSプロジェクトを交えて紹介し、その課題について考える。予防安全とは事故を未然に防ぐ安全でありITS(高度道路交通システム)が目指す安全である。車両単体の予防安全では限界があることから、最近は、路車協調、車車協調を活用した予防安全システムの研究開発が世界的に活発であるが、導入と普及、注意・警告の与え方など、多くの課題が残されている。</p> <p>②「日産の「ぶつからないクルマ」の取り組みと、最新のカーナビ利用運転支援システムのご紹介」 交通事故撲滅のためには、事故直前の回避とともに、ドライバーの運転疲労を軽減することと、危険な状況に陥りそうなときにそれを防ぐ予防安全が重要です。ここでは日産の予防安全技術開発の取り組みのコンセプト、それを実現するシステム群の概要に加え、特にカーナビを使った種々の安全運転支援システムについてご紹介します。</p> <p>③「衝突安全に対する車体構造とエネルギー吸収部材」 自動車の軽量化は、走行性向上と共に、燃費向上にも貢献する重要な要素技術である。現在、自動車設計の現場では機能性と安全性向上が優先されるため、トレードオフの関係にある双方を両立させるために、様々な設計上の工夫がなされている。本報告では、衝突安全性向上のための適切な車体構造や先端複合材料を活用したエネルギー吸収部材について、これまで検討してきた2, 3の研究事例を述べる。</p>
集合時間	12:50
定員	140名
申込方法	下記「申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年2月12日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

## 2009－第1回地区講習会（三島市）

開催日時	2009年7月23日(木)13:00～16:20
会場	東レ(株) 総合研修センター
テーマ	将来の自動車市場を考える
スケジュール	<p>13:00～13:10 開会挨拶</p> <p>13:10～14:10 (1)世界の自動車市場の今後の展望と自動車産業にとっての課題 杉浦 光 氏 〔(株)三菱総合研究所 経営コンサルティング本部 産業戦略グループ 主席研究員〕</p> <p>14:10～15:10 (2)トヨタiQの開発について 中嶋 裕樹 氏 〔トヨタ自動車(株) トヨタ第2乗用車センター 製品企画 チーフエンジニア〕</p>

	15:10～15:20 休憩 15:20～16:20 (3)コンパクト ミニバン FREEDの開発 高橋 正司 氏 〔株)本田技術研究所 四輪開発センター アシスタントリーダー〕
概要	(1)「世界の自動車市場の今後の展望と自動車産業にとっての課題」 足元、世界の自動車市場を取り巻く環境は厳しいが、モータリゼーションの歴史と動向を前提にすれば、いずれ自動車市場は回復に向かう。今回は今後の世界の自動車市場の可能性を展望すると共に、そこからうかがえる自動車産業にとっての課題を提示する。 (2)「トヨタiQの開発について」 2008－2009年度日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞したトヨタiQ。全長3m未満の4シーターを実現した小型軽量化技術および「小ささ」を感じさせない高速走行性能や欧州の高い安全基準EuroNCAP 5星を獲得した衝突安全性能を支えた数々の技術を紹介する。 (3)「コンパクト ミニバン FREEDの開発」 世の中でダウンサイジングが進む中、『this is ちょうどいい』をキャッチフレーズに新しい価値観を創造すべく、ホンダの低床技術を用いてコンパクトミニバンクラス初のフルフラット・フロアを採用。センターウォークスルーによる使い勝手の良さと3列に大人がしっかり座れる居住性を実現した。
定員	120名
申込方法	下記「申込方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2009年7月3日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

## 2009－第2回地区講習会（浜松市）

開催日時	2009年12月4日(金)13:00～16:20
会場	浜松市 可美公園総合センターホール(浜松市増楽町 920-2)
テーマ	安全・快適な車社会を考える
スケジュール	13:00～13:10 開会挨拶 13:10～14:10 ①「統合安全コンセプトによる安全技術開発について」 見市 善紀 氏 〔トヨタ自動車(株) 技術企画統括センター 先端・先行技術戦略室 主幹〕 14:10～15:10 ②「車載カメラによる外界センシングと智能化」 村松 彰二 氏 〔株)日立製作所 情報制御第二研究部 主任研究員〕 15:10～15:20 休憩 15:20～16:20 ③「新東名リーディングプロジェクトについて」 源島 良一 氏 〔中日本高速道路(株) 建設事業本部 企画統括チーム チームリーダー〕
概要	自動車は便利な反面、毎年100万人以上が交通事故で負傷しています。そこで今回は車両開発、部品開発、道路インフラの核分野の最新技術を紹介していただき、「本質的な自動車の安全・快適な車社会とは」について考える。
集合時間	13:00

定員	120名
申込方法	下記「お申込み方法」に従い、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2009年11月13日(金)
参加費	正会員(一般)2,000円、正会員(学生)無料、会員外(一般)6,000円、会員外(学生)無料

## 2009－中堅技術者懇談会（1泊2日）

開催日時	2009年10月1日(木)～2009年10月2日(金)
会場	エムエムシー教育センター (旧名称:三菱自動車教育センター) 岡崎市仁木町川越 1-1
スケジュール	<p>【1日目】</p> <p>10:00～10:30 オリエンテーション(挨拶、スケジュール説明等)</p> <p>10:30～12:00 講演「中堅技術者に期待すること」 坂本 雅昭氏[大同メタル工業(株) 代表取締役社長]</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～17:00 グループ討議(5グループ)</p> <p>17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食</p> <p>19:30～22:00 自由討議、名刺交換</p> <p>【2日目】</p> <p>7:00～ 8:00 朝食</p> <p>8:30～12:00 グループ討議まとめ</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～15:40 グループ発表(5グループ)</p> <p>15:40～16:30 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>技術者が日ごろ職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くと共に、所属会社経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>《2008年度参加者の声》</p> <p>中堅技術者懇談会への参加動機は、案内のようなテーマで同業他社の技術者と話ができる機会は少ないと考えたからです。グループ討議のテーマは「中堅技術者の悩みと解決法」で、「中堅」「技術者」「悩み」というキーワードから、自分達はどのようなことを考え、どうなりたいたのかを議論しました。討議で印象に残っているのは「中堅どころは面白い」という言葉でした。今まで中堅が面白いと感じたことはなかったのですが、チームで仕事をするの喜びや達成感を共有しながら、一人ではできなかった仕事をするのは確かに面白い、そのような機会があることも幸運なことだと感じました。懇談会を通し「中堅社員」と呼ばれている我々は色々なことに悩み、考え、そして解決し、行動に移している人が多く、力強いと感じました。</p> <p>本田技研工業(株) 鈴鹿製作所 品質管理室 越智良尊</p>

定員	50名
申込方法	下記「申込方法」に従い、必要事項ご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2009年7月17日(金)
参加費	8,000円

## 2009－若手技術者懇談会（1泊2日）

開催日時	2009年11月19日(木)～2009年11月20日(金)
会場	エムエムシー教育センター (旧名称:三菱自動車教育センター) 岡崎市仁木町川越 1-1
スケジュール	11月19日

	<p>10:00～10:30 オリエンテーション(挨拶・スケジュール説明など)</p> <p>10:30～12:00 講演:「いつも変わらない夢があった」</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～17:00 グループ討議(5グループ)</p> <p>17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食</p> <p>19:30～22:00 自由討議、名刺交換</p> <p>11月20日</p> <p>7:00～8:00 朝食</p> <p>8:30～12:00 グループ討議まとめ</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～15:40 グループ発表(5グループ)</p> <p>15:40～16:30 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【2008年度 参加者の声】</p> <p>懇談会終了時には夢・熱い想いを胸に抱き、やる気に溢れていました。参加者が持つ悩みの大半は、普段同僚とは話すだけになってしまうような仕事・上司への不満でした。会社や仕事は違っても同じ悩みを持っていることに共感し、深夜まで熱く討議することができました。その結果、不満の原因は“なかなか意見が通らず納得できずに仕事を坦々とこなす自分への苛立ち・悔しさ”と気付きました。そして、私たちは“周りのせいにするのではなく「自分が負けない」「諦めない」ために夢や熱い想いを持つこと”という解決策を打ち出しました。自分自身を甘やかせていたことに気付くと同時に、入社時の怖いもの知らずで夢に向かって頑張っていた気持ちを思い出すことができました。“若手が負けてどうする！若手の力で自動車業界を盛り上げよう！”この懇談会で得た“自分の意思を強く持つこと”を忘れずに頑張っていきたいと思えます。</p> <p>(株)アドヴィックス 制御第3技術部 宮田 好洋</p>
定員	25歳～29歳の若手技術者 50名(女性技術者も是非ご参加下さい)
申込方法	下記「申込方法」に従って必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2009年9月11日(金)
参加費	8,000円

## 2009ー第1回技術交流会

開催日時	2009年9月28日(月)13:30～18:40
会場	刈谷市産業振興センター
テーマ	インフラと自動車の協調による交通事故死ゼロを目指して
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》</p> <p>13:35～14:15 ①「交通事故防止のための道路のあり方」 安全先進国における道路での取組み、日本での最新の取組み等 松本 幸正 氏 〔名城大学 理工学部 建設システム工学科 教授〕</p> <p>14:15～14:55 ②「交通事故の解析」 事故の分析、安全対策の効果、リスクモデル等 廣島 康裕 氏 〔豊橋技術科学大学 建設工学系 教授〕</p> <p>15:05～15:45 ③「自動車側でのITS取組み」 インフラ協調による安全システム開発の現状等</p>

	<p>宮越 恒雄 氏 〔トヨタ自動車(株) 制御システム先行開発部 第3制御システム先行開発室 グループ長〕</p> <p>15:45～16:25 ④「道路側でのITS取組み」 名古屋高速における道路関連ITS、事故防止策等 柴田 昌弘 氏 〔名古屋高速道路公社 計画部 計画課 主査〕</p> <p>16:25～17:15 全体討議(参加者全員)</p> <p>《第2部》 17:20～18:40 意見交換会(参加者全員)</p>
概要	安全については車両での技術開発に加え、近年、通信技術などを用いたインフラとの協調によるITS利用事故防止技術、道路の運用方法などが注目され始めている。車とインフラに関わる技術に関し専門家から講演を頂くと共に、安全を高めるために必要な技術について関連技術者同士の意見交換を行う。
集合時間	13:30
定員	40 名程度
申込方法	下記「申込方法」に従い、必要事項ご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2009 年 9 月 7 日(月)
参加費	正会員 4,000 円、学生会員 1,000 円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る

## 2009－第2回技術交流会

開催日時	2010 年 3 月 12 日(金)13:35～18:40
会場	アイシン年金基金会館(安城市三河安城東町 2-8-1)
テーマ	燃費と環境に貢献するトライボロジ技術
スケジュール	<p>《第1部 パネルディスカッション》</p> <p>13:35～14:15 ①「エンジンを取巻く状況」 2009トライボロジ世界大会等に見る最近の研究動向、トピックスなど 藤田 正仁 氏 〔大同メタル工業(株) 中央研究所 所長〕</p> <p>14:15～14:55 ②「潤滑油」 燃費向上技術の動向、環境負荷物質低減への取組みなど 村上 靖宏 氏 〔アフトンケミカル・ジャパン(株) ビジネス部 部長〕</p> <p>15:05～15:45 ③表面処理1(主にDLC) 動弁系などに広く展開されつつあるDLC技術の最新動向とその課題など 加納 貢 氏 〔神奈川県産業技術センター 機械・材料技術部 材料物性チーム 専任研究員〕</p> <p>15:45～16:25 ④「表面処理2」(主に樹脂コート) 最近注目されている樹脂コート技術の最新動向とその課題など</p>

	<p>不破 良雄 氏 〔トヨタ自動車(株) パワートレーン材料技術部 燃料・油材・摺動材室 スタッフエンジニア〕</p> <p>《第2部》 17:20～18:40 意見交換会(参加者全員)</p>
概要	<p>自動車用エンジンは、燃費向上・軽量化・環境負荷低減など様々な課題に直面している。トライボロジ技術は、これら課題の一定部分を解決できる可能性を持ち、近年、エンジン高度化のキー技術として注目されている。 今回は、トライボロジの中心的技術である、潤滑油と表面処理に着目し、専門家から講演を頂くとともに、燃費と環境に貢献するために必要な技術について関連技術者同士の意見・提言の交換を行う。</p>
集合時間	13:30
定員	約40名
申込方法	下記「申込方法」をご参照頂き、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2010年2月19日(金)
参加費	正会員 4,000円、学生会員 1,000円
参加者条件など	自動車技術会会員に限る

## 2009年度学自研行事

委員長校 豊橋技術科学大学

副委員長校 静岡大学

開催年月	行 事 名	開催場所 (担当大学)	参加校
2009年 4月29日(水)	ものづくりセミナー	豊橋技術科学大学 (豊橋技科大・静岡大)	参加校 6校 参加人員 40人
5月17日(日)	ダートトライアル (大同大学：協賛)	山室山ダートコース (大同大学)	参加校 4校 参加人員 12人
5月30日(土)	学生委員会	名古屋大学 (豊橋技科大)	参加校 12校 参加人員 15名
7月4日(土)	走行技術トレーニング (北陸地区)	タカスサーキット (金沢大・金沢工大)	参加校 4校 参加人員 34名
7月11日(土)	走行技術トレーニング (学生フォーミュラ走行体験会) (東海地区)	小笠山総合運動公園エコパ (静岡大・静岡理工大)	参加校 6校 参加人員 94名
7月18日(土)	参与会・学生会	名古屋大学 (豊橋技科大/名古屋大学)	参加校 11校 参加人員 21名
8月4日(火)～ 5日(水)	3支部合同 学生フォーミュラ試走会	富士スピードウェイ	(中部支部) 参加校 10校 参加人員 約100名
10月31日(土)	学生委員会	名古屋大学 (豊橋技科大)	参加校 11校 参加人員 21人

11月7日 (土)	自動車テクニカルセミナー (FRP編)	ヤマハ発動機 新居工場 (名工大)	参加校 15校 参加人員 34人
12月 ⇒1月へ	自動車テクニカルセミナー (ブレーキ編)	名古屋大学 (名大)	講師都合により中止
12月5日 (土)	自動車テクニカルセミナー (電装編)	金沢大学 (金沢大・金沢工大)	参加校 6校 参加人員 20名
12月12日(土)	四輪駆動車試乗会	さなげアドベンチャーフィールド (愛工大)	参加校 3校 参加人員 13名
2010年 23日(土)	参与会・学生委員会 支部学自研大会 ・研究発表会 ・特別講演会	名古屋大学 (豊橋技科大/委員長校)	参加校 11校 参加人員 22名 [学自研大会] 参加校 8校 参加人員 74名
2月13日(土)	自動車テクニカルセミナー (C加工編)	三菱自動車工業・岡崎工場 (金沢大)	参加校 12校 参加人員 39名
3月25日(木) ～26日(金)	学自研学生と社会人技術者と 懇談会 (1泊)	エムエムシー教育センター (岐阜大・大同大)	参加校 8校 参加人員 19名 社会人技術者10名

- ※ 行事の統合並びに名称変更を行った。具体的には従来の「運転技術習得訓練」「走行体験会」を「走行技術トレーニング」に、各種「勉強会」「講習会」を「自動車テクニカルセミナー」に変更した。
- ※ 昨年度一部有志により学生フォーミュラに興味を持つ新入学生向けに開催された行事を「ものづくりセミナー」として正式行事として実施する。
- ※ 各講習会・勉強会の自動車テクニカルセミナーへの名称変更に伴い、各行事実施の必要性について検討を行った。その結果、本年度は「製作講習会」を見直し、「電装編」「FRP編」「ブレーキ編」「新企画」の実施を検討する。(新企画については、数種類の候補から実現可能性を含めて検討⇒NC加工編として実施)